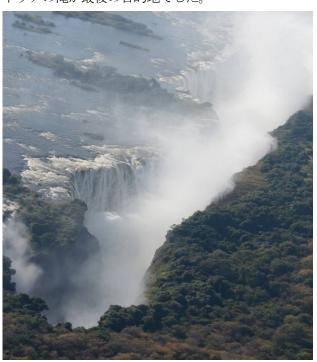
中村とその妹・弟と福田の4人グループでビクトリアの滝、チョベ国立公園のサファリ、喜望峰等の観光が楽しめる南アフリカ旅行に参加しました。

## ■ ビクトリアの滝

ビクトリアの滝はアフリカ第4の長さのザンベジ川の玄武岩層の峡谷(Gorge)にあります。ジンバブエ・ザンビアの両国にまたがる滝幅1,708m、最大落差108mの世界でも屈指の大きさを誇る滝で、世界遺産に登録されています。この滝はスコットランド人の探検家デイビット・リビングストンにより1855年11月16日に発見され、当時のイギリス女王に因んで「ビクトリアの滝」と名付けられました。ザンビアではモーシ・オワ・トゥーニャ(Mosi-oa-Tunya、雷鳴のする水煙)と呼び、水量の多い時にはその水煙は1000m上空まで上がります。6月のビクトリアの滝は最大の水量があり、土砂降りの雨のような水煙を浴び、その迫力に圧倒されました。

世界三大瀑布(ナイアガラの滝、イグアスの滝、ビクトリアの滝)が観たいと旅行計画をしてきましたが、ビクトリアの滝が最後の目的地でした。



ビクトリアの滝全貌(ヘリコプターから)



圧倒的な水量のビクトリアの滝

## ■ チョベ国立公園のサファリゲームドライブ

ボツワナにあるチョベ国立公園は全体の面積 11,700 22 (四国くらい)、ジンバブエ・ザンビア・ナミビア国境に近い地域は "リバーフロント" と言われ、ザンベジ川の支流のチョベ川流域にあります。



チョベ川河畔のゾウの群れ

チョベ国立公園の最大の特徴はアフリカゾウの生息 数の多さです。現在でも 50000 頭が生息して、アフリカ 大陸でも最も生息密度が高いと言われています。

ここでは通常のサファリカーに乗ってのサファリゲームドライブとボートに乗ってチョベ川クルーズを楽しめました。川から眺めるゾウの群れ、そしてカバやワニやミズトカゲは陸から見るのとはまた違った趣でした。陸でのサファリではゾウ、バッファローの群れ、インパラ、キリン、シマウマ、イボイノシシ、ヒヒやサルなど、そしてヘビウ、サニショウウミワシ、ライラニックブッポウソウ、エジプトガン、ホロホロチョウなど多種類の動物を見ることができました。ビッグ 5 (ライオン、ヒョウ、ゾウ、バッファロー、サイ)と呼ばれる動物の 3 種類を観ることができました。

そして運よくライオンがバッファローを狩り、自然 の弱肉強食の実際を見ることもできました。



バッファローの狩りに成功した若い雄ライオン兄弟



不気味に近づくバッファローの群れ



水草を食べるチョベ川のカバ

## ■ ケープタウン

"マザーシティ"の愛称を持つ港町「ケープタウン」は、世界で最も美しい街の一つで、豊かな自然にも恵まれています。南側には街の象徴であるテーブルマウンテンがそびえ、周囲にはアフリカ大陸最南西端にある喜望峰やワイナリー、ビーチなど見どころがあります。



ケープタウンと後方のテーブルマウンテン

## ■ 喜望峰(Cape of Good Hope)とテーブルマウンテン

喜望峰は 1488 年にポルトガルの探検家バルトロメウ・ディアスによって発見され、その後 1497 年にヴァスコ・ダ・ガマが、この岬を経由してインドへの貿易航路を開拓しました。それを記念して当時のポルトガル国王が、Cape of Good Hope (希望の岬) として命名しました。この後、ヨーロッパ列国によるアジアの植民地支配が行われました。喜望峰は実際にはアフリカ大陸の最南西端に位置して、最南端は喜望峰から 150 km南東のアグラス岬になるとのことです。



喜望峰(Cape of good hope)

この地域は独自の灌木地帯フィンボスが見られ、250種を超える鳥類、ヒヒ、ダチョウやケープマウンテンゼブラが生息しています。また、ボルダーズビーチにはケープペンギンが生息しています。



海より戻ったケープペンギンの群れ

テーブルマウンテン(標高 1086m)はケープタウンの南部に位置し、西側には大西洋が望めます。頂上までロープウェイ(65 人乗り)が走行して、頂上に行くまでの間に360度回転し、十分な眺望ができました。



テーブルマウンテンのロープウェイ

南アフリカの旅は飛行機を3回乗継、3カ国の入出国 審査等、約28時間を長い時間を要しました。アフリカ はやはり遠く、ハードな旅でした!

旅の詳細は福田のブログ (本会ホームページから 福 suke 笑顔の blog (livedoor. jp)) をご覧ください。

ザンベジ川上流のサバンナ(オカバンゴ)はホモサピ エンスの故郷と考えられ、近年、研究も進んでいます。 この事については別の機会に報告します。